

第30回「地方の時代」映像祭2010

「ドキュメンタリーを制作者と語る会」



第30回を迎える「地方の時代」映像祭に寄せられた映像作品は、3,000作品を超えています。これらの作品の中には人々の記憶に強く残る「名作ドキュメンタリー」が少なくありません。こうした作品を上映し、制作者とともに語り合う会を、東京、大阪で開催します。入場は無料です。

● 10月2日(土) (14:00~17:00) 会場：関西大学東京センター



上映作品：『イグネ』(NHK仙台放送局 2002年)

『つかい川』(2004年)

『イナサ』(2006年 2007年「地方の時代」映像祭優秀賞受賞)

NHK仙台放送局のカメラマンが中心となって、仙台平野の自然と人々の暮らしをハイビジョン映像でじっくりと追いました。「イグネ」は住居を守る樹木の垣根、「つかい川」は人々の暮らしをささえる用水、「イナサ」は魚を呼ぶ風。木と水と風を友として出来上がってきた地域の暮らしから、人間にとって大切なものが見えてきます。

◆ゲスト：伊藤孝雄さん(NHKメディアテクノロジー) 結城登美雄さん(「地方の時代」映像祭審査委員)

● 10月9日(土) (14:00~17:00) 会場：関西大学千里山キャンパス 第2学舎2号館C401教室



上映作品：『わが名は朴実(パクシル)』

(毎日放送 1987年「地方の時代」映像祭特別賞受賞)

「こんな国に自分を生んだ両親を恨んで」生きてきた在日朝鮮人の朴実さん。しかし、朴実さんは、帰化してまで得た日本名「新井実」を捨て、本名の「朴実」を取り戻す闘いを始めます。差別から逃げるのではなく、差別と向き合うために。朴実さんは、子供たちに「差別や偏見と逃げずに向き合う人間になってほしい」と語ります。

◆ゲスト：朴実さん 小林章良さん(毎日放送)

● 10月30日(土) (14:00~17:30) 会場：関西大学千里山キャンパス 第2学舎2号館C401教室



上映作品：『もう一つの橋』(山陽放送 1983年「地方の時代」映像祭大賞受賞)

『証言 80年目の真実』(山陽放送 2010年)

岡山県長島の「長島愛生園」。ハンセン病療養施設として「強制隔離」の場でした。長島と本土を結ぶ橋の計画を阻んでいるものは何なのか。人々の心の中に「もう一つの橋」はかけられるのか。27年前から今も続く「差別」の現実。今年、山陽放送は問題解決を求めて北欧をも取材しました。

◆ゲスト：山下晴海さん(山陽放送) 宮崎賢さん(山陽映画社)

● 11月27日(土) (14:00~17:00) 会場：関西大学東京センター

第30回「地方の時代」映像祭グランプリ受賞作品上映会

今年の「地方の時代」映像祭でグランプリを受賞した作品を上映。制作者を囲んで「地域からの発信」を語り合います。



■会場のご案内■

◆関西大学東京センター◆

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階
TEL. 03-3211-1670(代) 平日9時~17時
ホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/>

※入館証準備のため、直接会場に参加希望をご連絡ください。

◆関西大学千里山キャンパス◆

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
ホームページ
<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>

※関西大学千里山キャンパスは、参加登録は不要です。